

1 学校名・学年

美作市立英田中学校 第2学年

2 カリキュラム開発の基本的な考え

最大の人権侵害である戦争の学習を通して、「命の尊さ」や「互いの違いを求め合うことの大切さ」を学び、生徒の人権感覚の育成を図る。

3 実践の概要

(1)単元の全体構想(単元名、ねらい、構想、指導計画、評価)

単元名

・「平和学習」

ねらい

- ・戦争の悲惨さ、非人間性を知るとともに、生命と人権を尊重し、平和な社会を築こうとする心を育てる。
- ・学習内容をまとめ、他の人に分かり易く伝える工夫をして、新聞づくりや発表をする。

構想、指導計画、評価

調べる (11時間)	発表する (25時間)	まとめる (3時間)
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・立命館平和ミュージアム見学 ・班別テーマ別調べ学習【評価】 ・平和新聞づくり【評価】 ・平和学習(映画視聴) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表テーマ(シナリオ)決定 ・調査したり、発表に向けての準備、練習【評価】 ・文化発表会【評価】 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会の反省【評価】 ・人権標語づくり【評価】

(2)活動の実際(学習活動〔体験活動・交流活動の様子を含む〕、評価)

時数	学習活動	教師の支援	評価	教科等との関連
2	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・総合的な学習の時間のテーマやねらい、学習の流れについての説明を聞き、自分なりのイメージをつかむ。 ・立命館平和ミュージアムの展示の内、班ごとに調べるテーマを決定する。 	<p>学習全体の流れを説明し、班別調査活動からスタートする宿泊研修に意欲をもたせる。</p>	<p>総合的な学習の時間の流れがイメージできたか。</p> <p>積極的に取り組むことができたか。</p>	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・平和新聞づくり ・平和な社会とはどんな社会なのか、平和を脅かすものは何かを、立命館平和ミュージアムで調べたことを基にまとめる。 	<p>学習をもとに平和への願いをもつことができるようにする。</p>	<p>積極的に取り組むことができたか。</p> <p>調べたことを分かり易くまとめることができたか。</p>	<p>英語</p> <p>At the zoo (生命尊重・動物愛護)</p> <p>技家情報モラル</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・映画視聴 「ライオンツリーのうた」 ・夏季休業中の登校日に映画を視聴し、思いを感想にまとめる。 	<p>戦争の悲惨さ、残虐さを感じ、平和への願いをもつことができるようにする。</p>	<p>真剣に取り組むことができたか。</p>	<p>美術</p> <p>人権ホスター</p>

25	<p>文化発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を参考に、2年生の発表テーマと内容を考え、グループに分かれる。 ・グループごとに活動計画を立て、課題を追求する。 ・地域の戦争体験者の話を聞く。 ・発表準備、練習をする。 ・他学年の生徒、保護者、地域の方に発表する。 ・人権について他学年の発表を真剣に聞く。 	<p>グループごとに教員の担当を決め、生徒の状況に応じて相談にのるなどして、協力して課題追求ができるようにする。</p> <p>体験者の思いを真剣に受け止め、活動の参考にさせる。</p> <p>他学年の活動を理解し、認め合うことができるようにする。</p>	<p>他の意見を取り入れたり、自分の考えを表現したりして、協力して作業ができているか。</p> <p>真剣に取り組めたか。</p> <p>他学年の活動を理解し、認められるか。</p>	<p>学活 VTR「白い旗の証言、視聴、沖縄戦について学び、平和について考える。</p> <p>道徳 BEGIN「島人ぬ宝」4-(8)沖縄の美しい自然とそこで育まれた歴史や文化、人々の生き方について学ぶ。</p> <p>国語 「壁に残された伝言」平和について考える</p> <p>社会 アフリカの南北戦争</p>
3	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 ・今までに学んだことをもとに、生徒会が主催する人権標語コンクールに向け、人権標語を作る。 ・他の生徒の標語を読んだり、優秀作品を聞く。 	<p>活動を振り返りやすいワークシートを準備する。</p> <p>今まで学んできたことを、自分の生活にどう結び付けていくのか真剣に考えることができるようにする。</p>	<p>真剣に振り返ることができたか。</p> <p>平和への願いや人権についての自分の考えが表現できたか。</p>	<p>国語 表現の仕方</p>

4 成果と課題

(1)成果

- ・平和学習のスタートに、京都宿泊研修での班別行動(立命館平和ミュージアム)を設定したことで、生徒の興味・関心を高めることができた。
- ・平和新聞づくりや発表の準備で、図書室の資料やインターネットを利用し、テーマを追求することができた。
- ・朗読劇の衣装準備の中で、歴史資料室から本物の軍服を借りたり、また戦争体験者から当時の話を聞いたりするなど地域の方との交流を通して、生徒は戦争や平和への思いをより深くすることができた。
- ・文化発表会では、平和新聞を印刷して英田小学校6年生や保護者、地域の方々に配付し、劇やパソコンなど発表形式を工夫して、学んだり感じたことを多くの人に伝えることができた。生徒は素晴らしい評価を得たことで、達成感を味わい、自尊感情を高めることができた。
- ・職員研修で訪れた大阪国際平和センターでの研修や資料が、生徒にアドバイスを与えたり、劇のシナリオを選定する際に役立った。

(2)課題

- ・発表会が目的になってしまった感があり、戦争を最大の人権侵害ととらえ、日々の学校生活の中で平和な社会を追求していこうとする主体的な力を育成するために、継続した指導が必要である。